



### ◎大阪阿部野堺線道路工事竣功式

大阪市を中心とする十六放射幹線計畫中トップを切つて去る四月十八日竣功式を舉行した阿部野堺線は所謂南の幹線と稱せられ、府内に於ける二大中心地たる大阪市と堺市とを連絡し専ら近代的高速度交通の要求に應ぜむが爲の施設であつて、軌道等の併用するものなく將來産業交通上に裨益する處偉大なるべきを期待せられる路線である。宜やかな當日は官民の式に參する者場に溢れ數十萬の沿線住民は場の附近に圍集して本路線の開通を祝福した。式は定刻住吉神社副島宮司以下の修祓の儀を以て始められ、柴田府知事、内務大臣代理武井内務事務官、薄府會議長、關大阪

市長、森本堺市長等玉串を奉奠し、次で知事式辭、土木部長の工事報告、内務大臣以下の祝辭があつて式を終つた。

後參列諸員自動車を列ねて通初を行つた。車列は一路北進して大阪市に向つたが途中大和川に架設された遠里小野橋に至るや、知事は古賀工事主任の捧げる銀鍬を取つて橋端に張られた紅白の「テープ」を切る等の劇的シーンもあつた。此の日麗かに晴れた空には數臺の飛行機が高く低く祝賀飛行を行つたが勇しい爆音と民衆の歡喜とは互に相交錯して絶間なく打上る煙花の炸裂は更に氣勢を添へ未曾有の盛觀を呈した。因に當日の知事式辭、内務大臣祝辭及工事概要は左の通である。

#### 知事式辭

阿部野堺線通路工事成り本日チ以テ其ノ竣功ノ式典チ舉行スルニ方リ内務大臣閣下ヲ始メ多數貴賓ノ來臨ヲ得タルハ洵ニ欣喜トスル所ナリ

惟フニ阪堺兩都市ノ發展ハ歳ト共ニ進ミ各種ノ工場所在ニ勃興シ戸口ノ稠密日ニ其ノ度ヲ加ヘ交通運輸著シク激増シ道路行政上特ニ施設改造ヲ要スルモノ尠カラザルノミナラズ關東大震災

ノ慘害ニ顧ミルモ幹線道路ノ築造ハ災變ヲ救匡スルニ最も緊要  
事タルヲ思ヒ本府ニ於テハ畿ニ大阪都市計畫事業トシテ市内ヨ  
リ近郊ニ達スベキ十大放射路線ノ計畫ヲ樹テ大正十五年六月内  
閣ノ認可ヲ得更ニ臨時府會ニ於テ之ガ經費ノ協贊ヲ求メ茲ニ幹  
線道路網ノ確定ヲ見タリカクテ其ノ實施ニ當ルヤ本路線ノ施行  
ハ最も緊要ナルモノト認メ昭和二年十二月工ヲ起シ爾來銳意工  
程ノ進歩ニ努メタリ而シテ本路線ハ大和川南岸ノ堺市ニ屬スベ  
キ延長線ト聯絡施行スルニ非ザレバ固ヨリ其ノ效用ヲ完フスベ  
カラズ然ルニ時偶々經濟界ノ不況ニ伴ヒ失業者救済ノ要アルヲ  
認メタルヲ以テ昭和四年度失業救済事業トシテ其ノ延長線ノ施  
行ヲ企畫シ昭和四年十二月更ニ工ヲ進メ都市計畫事業ト併セ四  
ヶ年ノ星霜ト工費約三百萬圓ヲ費シ之ガ完成ヲ見ルニ至レリ  
抑々本道路ニ其ノ延長六千四百七十二米近代高速度交通ニ應ゼ  
シメム爲幅員ヲ二十三米トシ歩車道ヲ分チ路面鋪裝ヲ完整セリ  
大和川ニ架スルニ遠里小野橋ヲ以テシ其ノ延長二百米攝泉兩國  
ニ跨ル一大偉橋タルヲ失ハズ  
今ヤ阪堺兩地ハ此ノ幹線道路ニ依リ完全ニ聯絡シ將來地方ノ發  
展開發ヲ將亦國運ノ隆興ニ寄與スル所定ニ鮮少ナラザルヲ信ズ  
茲ニ本事業ノ達成ニ多大ノ援助ヲ致サレタル政府當局竝ニ關係  
方面ニ對シ深ク謝意ヲ表スルト共ニ將來斯ノ幹線ノ效用ヲ完カ  
ラシムルコトヲ庶幾シテ止マザルナリ聊カ所懷ヲ述ベテ式辭ト

雜報

ス

昭和六年四月十八日

大阪府知事 柴田善三郎

### 祝辭

阪堺兩都市ノ經濟的發展軌殊ニ著シク兩市ノ關係益々其ノ緊  
密ヲ加フルニ伴ヒ之ヲ連絡スル道路施設ノ必要愈々其ノ急ヲ告  
グルニ至ルヤ大阪府ハ乃チ大正十五年ヲ以テ大阪市中心トス  
ル十大放射路線ノ改築ヲ計畫シ本路線ヲ阿部野堺線トシテ其ノ  
計畫線ノ一ニ加ヘ昭和二年十二月都市計畫事業トシテ其ノ工ヲ  
起セリ、次テ昭和四年十二月之ヲ失業救済事業トシテ工事ヲ繼  
續ス起工以來年々積ム五年賞ヲ費ス三百萬圓工事延長六千四百  
七十米、今ヤ功成ルヲ告グ本日ヲ以テ竣功式ヲ舉ゲラル、邦家  
ノ爲又地方ノ爲寔ニ慶賀ニ堪ヘザルナリ  
惟フニ本工事ノ完成ニ依リ阪堺兩都市間ノ交通其ノ面目チ一新  
シ兩市商工業ノ進展ニ資補スル所鮮少ナラザルモノアルヲ疑ハ  
ズ、庶幾クハ今後其ノ維持管理ニ最善ノ力ヲ致シ以テ長ク其ノ  
效果ヲ完フセラレシコトヲ一言所懷ヲ述ベテ祝辭トス  
昭和六年四月十八日

內務大臣

## 阿部野堺線道路工事の概要

本府に於ては曩に都市計畫事業として大阪市より近郊に達すべき幹線道路たる十大放射路線の計畫を樹て、大正十五年六月内閣の認可を受け、同月二十八日臨時府會に於て之が經費貳千七百七拾壹萬四千四百拾五圓（十ヶ年繼續事業）の協賛を得たるが、昭和四年度に於て財政上の都合に依り十一ヶ年に繼續期間を延長し其の事業費貳千七百八拾萬五千五百壹圓に更正議決せられたり。

而して本路線は其の十大放射道路の一にして昭和二年十二月工事に着手せり。

然るに本路線は大和川南岸堺市内に屬すべき其の延長線の施行に俟つにあらざれば其の效用を全ふする能はざるが、時偶々經濟界の不況に基く失業者救済の提唱せらるゝや、本府は上記都市計畫事業に依る終點より堺市向陽町都市計畫三寶向陽線に至る延長千七百五十六米の改築を失業救済事業として企畫し、昭和四年十月之の認可を得同年十二月

之が工事に着手し、前記都市計畫路線と共に本年四月竣工するに至れり。

此勞力費總計二十八萬四百五十四圓、内要救済勞力費二十四萬五千五百四十二圓、失業勞働者延人員十四萬三千二百二十七人に達す。

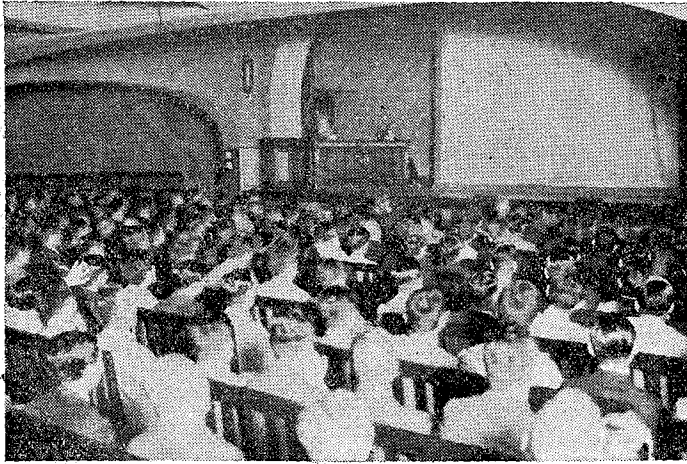
本路線の竣工に依り阪堺兩都市の聯絡交通上面目を一新し延て商工業の發展上寄與する所蓋し尠少ならざるを信じて疑はず。本工事の概要を述べれば次の如し。

### ◎米國の道路と自動車問題

#### 放映會の開催

米國自動車業會議所幹事ジョージ、パウワー氏が、米國政府公共道路局の製作にかゝる「近代道路築造」米國自動車業會議所の製作にかゝる「自動車の利用」等の諸題目に關係ある映畫を多數携へて來京したのを機とし、本會を初め工政會、帝國鐵道協會、道路研究會、都市研究會、日本自動車協會及日本交通協會の七團體主催の下に、去る五月

二十一日午後五時三十分から丸の内帝國鐵道協會に於て米



國道路と自動車問題の講演並映畫會を開催した。先づ工政會の倉橋專務理事が立つて開會の辭を述べ、次でパウワー氏登壇して約十分に分り最近米國に於ける自動車交通の發達普及の状況に付て講演

があり引き続き映畫會に移り第一部高速度交通機關……「自

動車の要素」自動車の始動及運轉「車輛の進歩」。第二部道路……「費用少ない道路の築造」「ベネトレーチイヴ、ビチュミノス、マカダム」「コンクリート道路の築造」「道路工事の進行」と題する九巻を映寫して幾多の資料を提供した。最後に本會理事前川内務省第一技術課長登壇して、閉會の挨拶を述べ且つ講演者パウワー氏に對し町重なる謝意を表し、同氏亦之に答ふる所があつて全く會を閉ぢたのは午後八時過であつた。當夜の來會者は斯界の人々は勿論學生其の他本問題に對して關心を有するもの數百名を算し廣き講堂も満員の盛況であつた。

### ◎パウワー氏招待晚餐會

別項報道の米國道路と自動車問題の講演並映畫會終了後主催團體の各代表者は、講演者パウワー氏を初め其の紹介者たる米國商務官ダウト氏其の他を丸の内帝國鐵道協會に招待して、其の勞を慰め午後十時過散會した。

### ◎幹事會

五月五日午後一時幹事會を開會、清水道路課長、武井、田中、佐藤、三浦、岩澤、都筑各幹事出席協議の結果内田副會長に打合せ五月七日を期し、理事會を開くことに決定午後三時半散會。

### ◎理事會

五月七日正午臨時事項につき理事會を開く、内田副會長、山田、中川、久保田(代理鐵道事務官)各理事、清水道路課長、三浦、岩澤、都筑各幹事出席協議に入り附議事項を決定、午後一時散會せり。

### ◎新舊常務理事送迎理事會

這般行はれたる内務省の局長地方長官の異動に際し、本會常務理事三邊長治氏が土木局長から地方局長に榮轉せられ、又多年本會の爲に深大なる盡力を致されたる丹羽七郎

氏が埼玉縣知事から内務省土木局長に榮任せられたので、右兩氏送迎の爲五月二十九日午後五時から丸の内日本俱樂部に於て理事會を開き、内田副會長を初め山田、松木、中川、黒河内の各理事並幹事が出席した。内田副會長から、本夕は水野會長が御旅行中の爲缺席せられたる旨を述べ、本會に關係深き兩氏の御榮進を祝し、三邊氏に對しては土木局長在任中常務理事として日常會務を執られたる勞を感謝し尙今後も理事として益々御盡力を乞ひ、また丹羽氏に對しては今回常務理事に御就任を願ひ一層の御盡力を得たき旨希望したるに對し、兩氏は夫々これが委囑を快諾せられ且町重なる謝辭を述べられ、食後別席に於て當面の會務につき協議を行ひ午後七時半散會した。